

平成 26 年第 1 回大崎市議会定例会会派代表質問発言通告書

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
1	17	氏家善男 (大崎ニューネット)	<p>1 市政運営の総括について</p> <p>(1) 改選期に当たり、これまでの市長の市政運営に対する所感を伺う</p> <p>2 市長選への出馬について</p> <p>3 予算編成について</p> <p>(1) 骨格予算となるが、提案される予算で留意された点は</p> <p>4 定員適正化計画について</p> <p>(1) 今年度退職者数と新年度採用者数及び計画の達成度は</p> <p>5 消費税増税への対応について</p> <p>(1) 各種事業への影響</p> <p>(2) 使用料や窓口手数料 (各種手数料), 利用料, 水道料金, 下水道料金への転嫁について</p> <p>6 庁舎建設について</p> <p>(1) 今後の建設計画について</p> <p>7 総合支所について</p> <p>(1) 鳴子総合支所, 田尻総合支所の整備方針</p> <p>(2) 岩出山総合支所, 三本木総合支所の空きスペースの活用検討</p> <p>8 入札不調について</p> <p>(1) 発注工事の入札において不調となった件数と不調率について, また国において予定価格の見直しを求める方針が示されたが, 本市の対応は</p> <p>9 防災行政無線システム整備事業の課題と補完システムについて</p> <p>(1) 地域特性をプロポーザルの提案要件に盛り込むとのことだが, 事業者との協議状況について</p> <p>(2) 地域による災害の特異性を考慮した補完システム構築の進捗は</p> <p>(3) 屋外拡声子局と戸別受信機の一部配備のみでは十分な情報共有ができない。インターネットのソーシャルネットワークサービスを利用したの調査研究, 反映への考えについて</p> <p>(4) 過去災害を受けた鹿島台, 松山, 被災地域への戸別受信機の全戸配備について</p> <p>10 過疎地域における情報化の促進について</p> <p>(1) 携帯電話の不感地域の実態の把握と早期解消について</p> <p>11 農業政策における新たな米政策への対応について</p> <p>(1) 戸別所得補償減額による影響</p> <p>(2) 日本型直接支払制度 (多面的機能支払) の創設となるが, 現行の農地・水保全管理支払実施地区と新規地区の進め方について</p> <p>(3) 収穫量に応じて支払われる飼料用米の本市の基準単収は</p> <p>(4) 当面, 食用品種としているが, 多収性品種が望まれる。品種の特認と種もみの確保について</p> <p>(5) 飼料用米作付増加に対する集荷施設の整備助成について (JA)</p>	160 分

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>(6) 食用米との需給調整に市の果たす役割について</p> <p>(7) 中山間事業の充実とあるが、これまでの事業をどう評価し、どう充実するのか</p> <p>(8) 日本型直接支払で支給額の半分を地方自治体が負担する内容について</p> <p>(9) 農地中間管理機構と市のかかわりについて</p> <p>(10) 環境保全型農業は本市が進めているものだが、堆肥を施用することを要件とする環境保全型直接支払の取り組み方針について</p> <p>(11) 農業政策の大転換と本市の目指す農業経営について</p> <p>12 畜産振興について</p> <p>(1) 和牛の郷復活への戦略を伺う</p> <p>(2) 素牛となる茂洋の保留について</p> <p>(3) 畜産指導員創設について</p> <p>(4) 第11回全共宮城大会への取り組みについて</p> <p>(5) 給餌が禁止されている野草の放射能検査について</p> <p>13 世界農業遺産登録認定について</p> <p>(1) 世界農業遺産登録の認定申請に至るまでの経緯、重要性、申請手順について</p> <p>14 原発事故対策について</p> <p>(1) 今年の側溝汚泥清掃について</p> <p>(2) 汚染牧草の一時保管（まだ未決定の地区）の見直し</p> <p>(3) 処理について指定廃棄物処分場を待たないと不可能か</p> <p>15 市民病院について</p> <p>(1) 県北の拠点病院としての役割を担う基本的なスタンスについて改めて伺う</p> <p>(2) 新本院の円滑な運営には地域医療との連携が重要である。3分院1診療所及び市内開業医との医療の連携について構想を伺う</p> <p>(3) 医師、看護師の確保状況について</p> <p>ア 新しい診療科の心臓血管外科医について</p> <p>イ 岩出山分院の整形外科医、鹿島台分院の眼科医について</p> <p>(4) 院内の案内や手話通訳の配置はどうなっているか</p> <p>(5) 院外処方薬局の出店は開院時に間に合うのか</p> <p>(6) 緩和ケア病床について</p> <p>ア 県北で初めての緩和ケア病床となるが、他の医療機関等との連携や体制づくりは万全か</p> <p>イ 緩和ケア病床のスムーズな運用のために地域緩和ケアの充実が求められるが、その推進について</p> <p>16 少子高齢化対策、子育て支援について</p> <p>(1) 子ども医療費の無料化年齢の拡大について</p> <p>(2) 待機児童解消のための新年度の対策について</p> <p>(3) 小規模校の学童保育について</p> <p>(4) 保育所における正職員と臨時職員について</p> <p>17 高齢化対策について</p> <p>(1) ひとり暮らしと高齢世帯数及び施設入所希望者の実態について</p> <p>(2) 施設整備計画について（民間を含めて）</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
			<p>(3) 地域内交通の利用状況と課題について</p> <p>18 夜間急患センターについて</p> <p>(1) 医師会との協議, 連携について</p> <p>(2) 医師, 看護師の必要数と確保について</p> <p>(3) センターの運営について</p> <p>19 企業誘致について</p> <p>(1) 重点施策の一つであるが, 推進への現状と課題について 伺う</p> <p>(2) 北原工業団地の早期完成について</p> <p>20 市民病院跡地利用について</p> <p>(1) 周辺地権者の意見聴取を含め, 早急なビジョンを</p> <p>21 中心市街地再生に向けての取り組みについて</p> <p>(1) 中心市街地活性化計画は震災後, 想定以上の町なか空間 ができた。大胆な再生計画も必要かと思うが, 再生に向 けた計画について伺う</p> <p>22 再生可能エネルギーへの取り組みについて</p> <p>(1) 太陽光や小水力発電等の具体的な取り組みについて, 市 有地有効利用の考えは</p> <p>23 林業再生に向けた施策について</p> <p>(1) 市有林の計画的な施業について</p> <p>(2) 森林組合への支援と連携の考えについて</p> <p>(3) 図書館や庁舎等公共施設への木材の使用</p> <p>24 体力向上と学力向上について</p> <p>(1) 体質的に肥満傾向にある児童生徒の体力向上について</p> <p>(2) 学力向上に向けた取り組みについて</p> <p>25 奨学資金拡充について</p> <p>(1) 原資の状況と資金の利用状況</p>	
2	14	齋藤 博 (改新クラブ)	<p>1 高齢化社会と介護保険制度について</p> <p>(1) 高齢者人口の増加と社会環境の変化で, 高齢者介護と介 護施設入所待機者の解消についてはどうか</p> <p>(2) 健康寿命の延伸政策について</p> <p>ア 合併前に三本木町で行っていたウイークサービスに戻 し, 活用することにより同じ高齢者でも埋め切れない, 相入れない世代間の垣根を取り払えば健康寿命の延 伸につながるものと確信するものであるが, どうか</p> <p>2 フッ化物洗口について</p> <p>(1) 平成 26 年度から本市が仙台市に続き他の市町村に先駆 けて導入することについて</p> <p>3 敬老会事業, 各種催しへの地域住民の参加数の減少につい て</p> <p>(1) 各地域の実施主体者は該当者の把握に苦慮しているこ とはないか。それにより該当者が参加できないという事 例はないか</p> <p>(2) 行政がかかわりを減らして地域で対応という市の方針 が本当に正しいことなのか</p> <p>(3) これまで町役場が住民と一緒にやってきたもろもろの 行事への参加者が合併を境に, 例えば夏祭りや秋の文化 祭等で行う側の参加者は同じでも, それを見にくる人や</p>	120分

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>聞きにくる人は明らかに減っている。これも前記(2)と同様に市の方針は正しいのか。市民協働を合併後盛んにはやし立ててきたが、市民は諦めでなく本当に市長や市民協働推進部長が言うように受け入れていると思っているのか</p> <p>(4) 以上のように、これまでと違い地域住民のきずなやつながりが希薄になってきている市民協働を、地域に、住民に丸投げするだけで本当によいのか</p> <p>4 老人クラブ数の減少について</p> <p>(1) 行政として減少傾向の原因の把握はできているのか。把握に見当違いはないのか</p> <p>5 各種選挙における投票率の低下と高齢者対策について</p> <p>(1) 本年4月の市長、市議会議員選挙においても、有権者のうち、投票に行きたい、投票をしたいと思う人でも、現行の制度でカバーできない理由でやむを得ず棄権を選択する人も出てくると思うが、それを少しでも減らす対策はどうか</p> <p>(2) 4月以降の各種選挙においては、投票所を集約する考えのようであるが、前記の状態が進めばさらに深刻になるのは火を見るより明らかであるが、それでもさらに集約を進めなければならない理由とはどんなものなのか</p> <p>(3) このことについても市民と行政の考え方に違いがあるように思うが、なぜ主権のある住民の立場で施行できないのか</p> <p>6 消費税のアップと各種値上げと市民生活について</p> <p>(1) 消費税が3%アップし8%にこの4月からなる。それに伴い公共料金を初めとして、この際の便乗も含めて値上げされ市民生活に影響が出る。特に現役世代の毎月定例的に収入のある場合を除く、それから取り残される低所得者にとっては毎日の生活にもろに降りかかってくる。特に冬期間の燃料代、電気代等、市として対応は考えないのか</p> <p>7 未給水世帯の解消について</p> <p>(1) 同じ市民なのに、生活の根源である水さえも、住む場所により、自分の意思と関係なく井戸水、もらい水等で対応せざるを得ない家庭への対応は、水道事業の計画に任せておいては市民生活の安全・安心の確保に余りにも時間を要する。一般会計で対応を行い、一日も早い未給水解消を図るべきではないか</p> <p>8 請願で採択になったパークゴルフ場の整備について</p> <p>(1) 整備の実現に向けて行政の具体案は、26年度予算で対応する予定はどうか</p> <p>(2) 場所の選定に当たっては大崎市のPRの関係から国道4号から見えるところ、新幹線から見えるところ、あるいは東北自動車道から見えるところを最低条件にすべきであると思うが、どうか</p> <p>9 防災行政無線設置事業について</p> <p>(1) 情報補完システムについて今後改めて検討を行うということであったが、これまでの議論で議会の意見を取り</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>入れる方向という解釈でよいのか</p> <p>10 校庭, 園庭の芝生化について</p> <p>(1) 維持管理に地域の恒久的な協力が確約できないと今後進めていけない。広めていくのにちゅうちょしているということであったと思うが, 大崎市の次代を担う子供たちの体力向上や運動能力向上, 情操教育の向上が求められて久しい。今日において効用, 有効性が内外ともに認められていることであれば, 先行投資という観点からも必要な経費はかけるべきではないのか。時期を逃した投資は無駄ということを考えるべきではないか</p> <p>11 学力向上対策について</p> <p>(1) 昨年 11 月, 文部科学省は, 公立学校で土曜授業を推進するため, 学校教育法施行規則を改正し, 「教育委員会が必要と認める場合は授業の実施ができる」と明示した。大崎市もどこよりも先に取り組むべきと考えるが, 所見を伺う</p> <p>12 新図書館建設について</p> <p>(1) 基本設計及び実施設計に当たっては, 広く市民の声を取り入れることが肝要であるが, 具体的にパース並びに平面図を各議員に配付した状況で今後全く別物にする要求は当然出てくると思うのであるが, その度量はあるのか</p> <p>(2) 基本構想では, 「図書館等複合施設」としている。当然, 文化施設を単に併設するだけでなく, 複合の本来の意味である「複数のものが合わさって一つのものになること」を目指すべきと考えるが, 複合施設の考え方を伺う</p> <p>13 児童生徒の体力向上について</p> <p>(1) 小学校低学年児童の通学はスクールバスによるものに推移しており, 保護者からはおおよそ歓迎されているようである。同じ低学年児童でも, ある距離内は徒歩通学もあり, その体力差はどの程度のものになっているのか</p> <p>14 国際交流, 姉妹都市交流について</p> <p>(1) 実務を担う団体に市のかかわりが現在程度であれば, 長期にわたる交流に支障が出るものと危惧するのであるが, いずれの交流も当時の役所が始めたものであり, 「この時勢なのであなた方で頑張る」というスタンスは長く交流を続けるには改める必要ありと考えるものであるが, どうか</p> <p>15 三本木用地について</p> <p>(1) 昨年末に市長が知事と話し合われた内容について</p> <p>(2) 計画公表から 20 年が経過し, それでも何らの進展がないことについて</p> <p>(3) 旧三本木町のまちづくりは三本木用地の計画に基づいたものに沿って行政庁舎, 新世紀公園, 幼保一元化施設, 道の駅, 給食センター等を整備したもので, 知事が交代したので私は知らないという態度はいかがなものか。行政への不信は住民がつくるものではなく, 行政がつくり出したものということをしっかり再認識するべきだと思うが, 市長はそうのように思っていないようだが, どう</p>

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>なのか</p> <p>16 鳴子温泉地域向山地区の振興策について</p> <p>(1) この地区を放置しておけば、常に産廃処分場問題の再燃の心配がつきまとう。一つの方策としてとりあえず市で先行取得を行い、処分場設置の阻止を講じ活用方策を見出すという手法をとる考えに立てないものか。観光にも役立つのではないか</p> <p>17 林業振興について</p> <p>(1) 「(仮称)大崎市森林ビジョン」の策定状況を伺う</p> <p>(2) 森林の施業放棄対策について伺う</p> <p>(3) 自伐林業(土佐の森方式)の推進策について伺う</p> <p>(4) かつては隆盛をきわめた製材所の復活の考え方について伺う</p> <p>18 放射能対策について</p> <p>(1) これまで3年間できなかった側溝汚泥の除去作業を、26年は各地域一斉に行え、処理の態勢もしっかりとしたものができるのか、伺う</p> <p>(2) 汚染牧草の処分の一時保管事業完了の見通しについて伺う</p> <p>(3) 汚染牧草の集積に協力した地区への「協力の見返り」がはっきりしない。「協力の見返り」を明示し、しっかりと協力に対するメリットをアピールすべきだと考えるが、どうか</p> <p>(4) 最終処分場の候補地が他市町ではあるが示された。各市町とも受け入れたわけではないので振り出しに戻る可能性があるが、当市に振られても、しっかりとNOと言えるのか</p> <p>(5) 原木シイタケの露地物や野生キノコ、山菜等の出荷制限解除に向けた具体的な取り組みについて伺う</p> <p>19 中心市街地復興まちづくり計画について</p> <p>(1) 拠点づくりの方針と具体的取り組み</p> <p>ア 駅から新図書館周辺</p> <p>(ア) 計画では、古川駅内にある総合観光案内所の機能充実に取り組むことになっているが、進捗状況を伺う</p> <p>イ 七日町周辺</p> <p>(イ) 東日本大震災復興特別区域法(特区法)に基づく民間投資促進特区を活用して、産業集積(IT)を促進することになっているが、進みぐあいを伺う。また市役所や緒絶川に近いといった立地のよさを生かし、新たなまち暮らしの地区形成や空きビルの対策、空き地の活用方法について官民協働での取り組みを検討することになっているが、進行状況を伺う</p> <p>(2) 中心市街地全体での方針と具体的取り組み</p> <p>ア 計画では情報通信技術(ICT)を活用した、避難情報の提供や商店街情報、高齢者の安否確認等の情報伝達システム等の構築を検討することになっているが、26年度の具体的な取り組みを伺う</p> <p>イ 商店街に見られる空き店舗や空き家の利活用を図るための空き店舗対策補助金の活用を促進するとしている</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>が、26年度の具体的な取り組みを伺う</p> <p>ウ 地域資源を生かしたコミュニティービジネスの創造支援を検討するとなっているが、26年度の具体的な取り組みを伺う</p> <p>(3) 広域防災活動拠点の整備</p> <p>ア 行動計画に示された、「駐車場整備」の整備手法として千手寺周辺地区に新たに「道の駅」を建設することを検討することになっていたが、進行状況を伺う</p> <p>20 商業振興について</p> <p>(1) リオーネふるかわ、醸室の再建計画（経営改善計画書）に合わせて8,000万円の出資を行っていたが、計画どおり順調に進捗しているのか、伺う</p> <p>21 観光振興について</p> <p>(1) 一般社団法人みやぎ大崎観光公社のこれまでの活動成果と課題について伺う</p> <p>(2) 観光振興について、一般社団法人みやぎ大崎観光公社に期待する部分は具体的にはどのようなものになるのか。26年度についてはどうか</p> <p>(3) また今後も行政が行う役割について伺う</p> <p>22 再生可能エネルギーの推進について</p> <p>(1) 再生可能エネルギー導入推進のための政策条例が求められるが、検討状況を伺う</p> <p>(2) 木質バイオマスの利活用の26年度の具体的な取り組みを伺う</p> <p>(3) 温泉熱バイナリー発電事業の26年度の具体的な取り組みを伺う</p> <p>(4) 温泉熱を利用した鳴子ブランドづくりの26年度の具体的な取り組みを伺う</p> <p>(5) 太陽光発電奨励と固定資産税の減免制度について</p> <p>ア この事業を農地で行うには地目変更を行う必要が出てくるが、農地から雑種地に変更した時点での課税は太陽光発電奨励の面からどのような減免が見込めるのか、伺う</p> <p>23 工業振興について</p> <p>(1) セントラル自動車が大衡、大和に集積することにより、関連する下請、孫請の工場誘致及びこれに伴う住宅需要の増加が喧伝されてきたが、現時点での成果はそれほどではないというのが大方の市民の感じではないかと思う。今後いかなる手法をとることによって企業、工場誘致を行い、市勢の発展につなげるのか、伺う。オーダーメイド方式を今後も続けては、せっかくの誘致話も他に持っていられるのではないか。調査に手をかけたところを再検討する必要はないのか</p> <p>24 公共下水道、農業集落排水事業について</p> <p>(1) 少子高齢化社会になり、世帯構成も変化した。水洗化率の上昇は全体で見込めず、このまま面整備を進めた場合、水洗化しない世帯がふえ続け、維持管理費用の増高でいつまでも特別会計から脱出できず、企業会計化はますます遠のく。管路及び施設設備の老朽化も進み、更新</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
			<p>にも莫大な費用を要する時期が近いうちに来る。このまま面整備をこれまでの計画どおりに進めてもいいのか。水洗化に傾注、特化して下水道使用料の安定化に向かうべきなのではないか</p> <p>25 公園事業の維持管理について</p> <p>(1) これまで合併前に旧市町で公費を投入して整備した公園、遊園が多数あると思うが、維持管理をおろそかにして公園の体をなしていないものもある。このことについて行政ではどうにもできないことははっきりしている。今後整理するなり、地域住民の力をかりるなりの明確な意思表示が必要なのではないかと。</p> <p>26 常襲冠水地域の解消について</p> <p>(1) 古川地域は 25 年度内に完成する李塚排水機場により市中心部は解消の予定であるが、地域内は地形の関係上多くの地区の広範な面積が解消されずに大雨のたびに生命の危険にさらされる。大崎市も地下に巨大貯留槽の計画に着手してもいいのではないかと。都会と違い貯留した雨水は農業用水に利用することも可能なことから、国土強靱化を国策として進める国交省、農水省とも協議を進めてはどうか</p> <p>(2) 鹿島台地域の姥ヶ沢地区についても整備計画に入っているようであるが、従来手法の水路による排水整備計画であるが、百年の計で解消するように地下に巨大貯留槽計画を立ててはどうか</p> <p>27 生活環境事業の拡大について</p> <p>(1) 市道並びに生活道の未舗装の整備と側溝の整備について、25 年度と比べ、どの程度予算の増額になり、どの程度延長整備されるのか、伺う</p> <p>28 適材適所に必要な人員の確保について</p> <p>(1) 東日本大震災からの復興期に事業をこなすだけの人員の手当てはできているのか。人員の不足は仕事をお願いする企業にも迷惑をかけることにもつながる。一時期だけであってもしっかりと対応すべきであるが 26 年度はどうか。具体的に現状と比較しどの程度の増が必要なのか</p> <p>29 冬期間の融雪剤の散布について</p> <p>(1) 除雪で対応できないところは業者委託による定期的な融雪剤の散布ができないか。特に児童生徒の通学路、歩道、そして狭い細い道はどうか</p> <p>30 公用車への市章並びに市名の標示について</p> <p>(1) 試験的に行っているようであるが、台数が少ないこととマークが小さ過ぎて印象づけるところまで行っていないように思う。提案したようにやるときはもっと大胆に行う必要があると思うが、26 年度に新たに増車と、つけるマークの拡大を行う考えはどうか</p>	
3	18	山村康治 (大志会)	<p>1 本市産業の活性化への施策展開について</p> <p>(1) コメ政策の見直しの政府農政転換に係る本市農業の今後の展開について</p>	100 分

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>ア 懸念されるTPP交渉の進みやコメ政策見直しの政府方針を受け、26年度の本市農政の方針をどう位置づけ取り組む考えか</p> <p>イ これまで取り組まれてきた集落営農や環境保全型農業は、どう誘導を図る考えか</p> <p>ウ 世界農業遺産登録へ取り組む強い意思表示をされているが、本市農業の今後の戦略にどのような効果を見出そうとするのか。また、仮に登録が実現した場合に地域や農業者にとってどのような制約が想定されるのか</p> <p>エ 遺産登録へ向けた取り組みは一部地域か、全市域、市民挙げての取り組みとなるのか</p> <p>オ コメ政策の大転換により、飼料用米への取り組みが話題に上がるが、つけ焼き刃的で、先行き不透明感が否めない。取り組み方針と確実性かつ優位性のある販売ルートの確立が求められるが、考えを伺う</p> <p>カ 6次産業化へ向けた、具体的な実践へ大きく歩み出す必要があると思うが、推進の考えを伺う</p> <p>キ 第11回全国和牛能力共進会宮城大会が平成29年に開催されることを受け、大崎市として最上位獲得に向けた取り組みをどう進めているのか、伺う</p> <p>ク 「ふつつ共和国」を的にした女子大生の大崎まち歩きが展開されたが、今後の政策へ取り入れるような成果はどのようなものがあるのか</p> <p>(2) 商業・観光について、震災以降、中心部ににぎわいや人通りが右肩下がりに感じられる。特にこの年末年始は強く感じるが、実態の認識と対応について伺う</p> <p>ア 醸室、リオネの中核施設として集客力の現状をどう捉えているのか。また、増資した効果の評価と経営改善はどう取り組まれているのか。さらに、課題をどう整理され、解消への対策は見出されているのか、伺う</p> <p>イ 第三セクターの経営状況をどう捉えているのか。それぞれが営業力の強化を図るべきでは</p> <p>ウ 道の駅の経営現状として、入店者の推移や売り上げ実績、産直コーナーの出店者の動向、売り上げ、新商品開発、品目拡大など、どのように推移しているのか、伺う</p> <p>エ 市内の直売所の運営実態をどう捉えているのか。店舗の充実や後継人材の育成はどう考えているのか</p> <p>オ DC終了を受けての鳴子や田尻の入り込み数の推移や物販の状況はどうなっているのか</p> <p>(3) 工業振興と企業誘致について</p> <p>ア 地域活力の基礎は人材育成にあるが、次世代人口の流出防止策としての教育、就労の確保について、どう取り組んでいるのか</p> <p>イ 市内企業や事業者の経営実績と受注現状をどう捉えているのか。雇用数の推移や給与水準等の調査はなされているのか</p> <p>ウ 企業や事業活動に対する支援や企業誘致はどう展開されているのか</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>エ 工業団地造成の見通しと誘致対象企業の目標は整っているのか</p> <p>2 教育環境整備について</p> <p>(1) 幼児教育と子育て支援に関する市内幼保連携会議の状況</p> <p>(2) 公立幼稚園と私立幼稚園の連携状況</p> <p>(3) 幼保一元化施設をどう進めるか</p> <p>(4) 児童生徒数の推計による通学区域の考え方</p> <p>(5) 小学校統廃合後の施設利用の考え方</p> <p>(6) 小中連携教育の考え方</p> <p>3 20万都市構想について</p> <p>(1) 定住人口の位置づけ</p> <p>ア 自治体としての必要な定住人口増の方向性</p> <p>イ 定住人口増加と優良な宅地の確保の観点から古川北稲葉地区を区画整理事業の対象として考えられないか</p> <p>(2) 交流人口の位置づけ</p> <p>ア にぎわいと活性化に必要な効果的なイベントの創造</p> <p>イ グリーンツーリズム事業の現状と課題をどう捉えているのか。教育旅行受け入れのさらなる拡大策は</p> <p>ウ 全国規模の大会誘致ができる施設整備を図り、スポーツ交流の拠点づくりを進めるべきと思うが</p> <p>4 道路整備について</p> <p>(1) 地域要望の高い市道、通学路、生活道の整備をどう捉えているのか</p> <p>(2) 現在の要望箇所数と着手状況、今後の進行計画は</p> <p>5 市営住宅整備について</p> <p>(1) 市営住宅払い下げ計画</p> <p>(2) 老朽化住宅の建てかえ計画</p> <p>(3) 公営住宅ストック計画はどうなったか</p> <p>6 少子化対策（子育て支援）について</p> <p>(1) 少子化と言われながら、待機児童がなぜ解消されないのか</p> <p>(2) 子育て支援策としての医療費負担軽減の方向性は</p> <p>7 障害者ネットワークづくりと市独自の支援策について</p> <p>(1) 支援学校卒業後の支援策、方向性</p> <p>8 遊休資産について</p> <p>(1) 「売地」看板が立っているが、価格の表示がない。不動産鑑定士の計画を伺う</p> <p>(2) 遊休資産の整理方針、考え方を伺う</p> <p>9 健康長寿延伸のための施策について</p> <p>(1) 日本人平均寿命は世界一と言われて久しいが、大崎市独自の健康長寿延伸の施策は</p> <p>(2) 健康維持のためパークゴルフ愛好者が増加している。さきの議会で古川周辺地域にパークゴルフ場建設の要望書が採択されたが、平成26年度中建設の考え方</p> <p>(3) 介護予防事業として、市長杯大崎市民パークゴルフ大会開催の考え方</p> <p>10 病院事業について</p> <p>(1) 病床の稼働率を平成28年度フル稼働と見込んでいるが、</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
4	27	小沢和悦 (日本共産党大崎市 議会議員団)	<p>それまではどう推移していくのか</p> <p>(2) 新たに副管理者を置くとしているが、その役割と医業収益増への方策を伺う</p> <p>(3) 市民病院で診察を受けるには開業医の紹介が必要で、初診料を2度払うことになる。制度上やむを得ないのか</p> <p>(4) 田尻診療所で行っている認知症に特化した研究の成果と今後の方向性</p> <p>(5) 本院開院に伴う周辺環境整備について、周辺道路網と側溝の整備や調査を早期にすべきでは</p> <p>11 再生可能エネルギー産業創出について</p> <p>(1) 温泉熱を活用したバイナリー発電への取り組み、導入を促進すべきでは</p> <p>(2) 太陽光発電の設置状況と今後の普及推進計画</p> <p>(3) 木質バイオマスの今後の計画</p> <p>12 大崎市図書館等複合施設建設について</p> <p>(1) 図書館建設に伴い、市民会館、中央公民館、勤労青少年ホームなどの将来像をどう描いているのか</p> <p>1 指定廃棄物処分場候補地選定問題への対応について</p> <p>(1) 大崎市の水源にかかわるのではないのか</p> <p>(2) あらかじめ定められた宮城県における処分場の選定方法に合致しないことが明白なのに「候補地」としたその全ての経過の公表を政府、環境省に求めるべきではないか</p> <p>2 大崎市として、女川原発再稼働をさせず、廃炉を要求することについて</p> <p>(1) 市長は、その決断を今すべきではないか</p> <p>3 大崎の存亡にかかわる地域農業を守り、発展させることについて</p> <p>(1) 安倍政権の「コメ政策の大転換」への対応</p> <p>(2) 大崎市における農業の位置づけと対策</p> <p>(3) 新規就農者確保目標と対策</p> <p>4 大崎市の人口減少傾向に歯どめをかけ、V字型で人口増に転ずる施策について</p> <p>(1) 市は、このことで何か考えていることがあるか</p> <p>(2) 子ども医療費の中学生まで無料、学校給食費の半額補助などの子育て支援強化を、人口増に結びつけてはいかか</p> <p>(3) 再生可能エネルギー活用による産業・雇用おこし</p> <p>5 消費税増税による一層の生活苦対策、景気対策について</p> <p>(1) 不安定雇用、低賃金に苦しむ非正規労働者の不安解消と所得をふやす対策</p> <p>(2) 年金生活者の手取り年金額をふやす対策</p> <p>6 日本一、地域に貢献する市民病院を目指す課題について</p> <p>(1) 市民病院新本院を中心に地域医療機関等を巡回するバス等の交通体系を実現することについて</p> <p>(2) 患者様に誠実に向き合い、より信頼される病院にする上での課題。特に、診療に係る個人情報保護義務の遵守について</p>	80分

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
5	25	高橋憲夫 (セントラル大崎)	<p>7 古川またはその近くにパークゴルフ場を設置することについて (1) 請願採択後の取り組みについて</p> <p>8 震災被災者の医療費窓口負担の免除実現について</p> <p>1 合併10年目に向かう大崎丸の安航を祈って (1) 移転する市民病院本院の後処理について ア 解体予定の旧本院を老健施設に転用することについて イ 図書館建設と中心市街地の活性化策について (2) 合併10年後を見据えた財政運営について ア コンパクトシティー化について イ 観光産業立市の本気度について (3) 原発問題への対応について ア 大崎の森林を宝にする里山資本主義導入 イ 新エネルギー産業創出にかかわる条例制定</p>	60分
6	6	加藤善市 (清和会)	<p>1 大崎市における東日本大震災からの復旧復興、そして発展への諸課題について (1) 産業政策について ア 農業を取り巻く環境の激変への対策について イ 企業誘致と起業家育成策について (2) まちづくりについて ア 空洞化した中心市街地対策 イ 新しいまちのさらなる利便性（穂波地区へ郵便局誘致への働きかけ） (3) 市民の意識統一のため、市民歌・花・木選定への考えは</p>	60分
7	7	横山悦子 (公明党)	<p>1 新江合川緑地公園と周辺の道路整備について (1) 市道師山反町2号線、師山伊達ヶ森線の整備について (2) 天狗橋の整備について (3) 看板の設置について</p> <p>2 地域包括ケアシステムの構築に向けて (1) 住みなれた地域で医療や介護などのサービスを一体的に受けられる地域包括ケアシステムの構築について (2) 鳴子温泉分院、岩出山分院、鹿島台分院を核として保健、医療、福祉の連携のあり方について (3) 認知症高齢者への支援として、在宅医療や介護の連携のあり方について</p> <p>3 子育て支援について (1) 子ども医療費の拡充について（通院6年生まで） (2) チャイルドシート（新生児）助成について (3) 幼児から中学3年生までのインフルエンザ予防接種の助成について (4) 妊婦の「歯科検診事業」の導入について</p> <p>4 病院事業について (1) 7月の開院に向け、交通弱者対策について</p>	40分
8	22	豊嶋正人 (社会民主党)	<p>1 行政改革大綱に基づく第3次集中改革プランの取り組み状況について</p>	40分

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			<p>(1) 協働のまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 市民自治行動計画策定 イ 地域別まちづくり方針作成 ウ パートナーシップ会議による政策形成過程への市民参画 <p>(2) 民間活力の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 市営住宅管理業務のアウトソーシング検討 イ 収納業務のアウトソーシング検討 <p>(3) 投票時間の短縮</p> <p>(4) 組織機構の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 本庁機能の充実強化 イ 保健、福祉業務の集約化と効率的な保健師配置 ウ 教育委員会支所の廃止 <p>(5) 定員適正化計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 計画達成後の採用方針 <p>(6) 人材育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 各種研修の評価、検証 <p>(7) 窓口業務の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 窓口業務のアウトソーシングは可能か <p>(8) 情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 広報誌発行業務のアウトソーシングは可能か <p>(9) 滞納整理推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 第2次市税等収納率向上対策3カ年計画の効果 <p>2 自治体委託業務における労働者の雇用安定と労働条件の改善，法令違反の一掃について</p> <p>(1) 委託先事業者での労働基準法，労働組合法，労働安全衛生法，パートタイム労働法，男女雇用機会均等法，育児介護休業法，雇用保険法等の遵守の徹底を図ることについて</p> <p>(2) 自治体の委託業務に，偽装請負，派遣が行われていないか点検し，法令違反が行われている場合は直ちに是正することについて</p>	